

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	9
研究課題名	乗車位置が交通事故患者の生命予後および解剖学的重症度に与える影響：市中病院救命救急センターにおける後ろ向きコホート研究
研究責任者 (試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)	神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害救急医学分野 助教 大野雄康
共同研究者 (利用する者の範囲)	麻酔科 篠原一彰・救命救急センター所長代行 石田時也・神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害救急医学分野 教授 小谷穰治 神戸大学大学院
研究目的 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	当院の外傷データベースを活用し、これらの交絡因子を調整したうえで、乗車位置が交通事故患者の生命予後および各臓器別の解剖学的重症度に与える影響を検証する
他の研究機関(共同研究機関含む)への情報提供の有無、及び提供先の研究機関名・その提供方法	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有に <input checked="" type="checkbox"/> した場合、提供先の研究機関名 及び その提供方法 神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害救急医学分野 連結可能匿名データをパスワードをかけたUSBにて提供する
研究実施期間	～
研究対象者及び対象期間	研究対象は2000年1月1日から2022年12月31日に当院に救急搬送された外傷患者とする。ただし、交通外傷以外の受傷起点の症例と、普通乗用車 or 軽自動車以外の車種、欠損値（シートベルト、エアバック、乗車位置不明等）は解析から除外する
利用する情報 (利用し、または提供する試料・情報の項目)	収容年月日、曜日（週末もしくは平日）、時間帯（日勤帯/準夜帯/深夜帯）、年齢、性別、初期接触時バイタルサイン（Glasgow coma scale score、収縮期血圧、呼吸回数）、受傷起点（正面衝突/側面衝突/後面衝突/turn overなど）、緊急気管挿管の有無、緊急手術の有無、Abbreviated Injury Scale (AIS)、Injury severity scale (ISS)、Revised Trauma Score (RTS)、Trauma and Injury Severity Scores method による予測生存率 (Ps)、救急要請-病院到着までの経過時間、病院滞在日数などの情報
研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	